

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年8月13日

上場会社名 AI CROSS株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4476 URL <https://aicross.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 典子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 菅野 智也 TEL 050-1745-3021
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の業績 (2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|----------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年12月期第2四半期 | 1,271 | 42.6 | 174 | 200.4 | 171 | 198.0 | 283 | 629.6 |
| 2020年12月期第2四半期 | 891 | 40.0 | 58 | △41.7 | 57 | △40.5 | 38 | △40.5 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年12月期第2四半期 | 71.80 | 69.35 |
| 2020年12月期第2四半期 | 9.97 | 9.56 |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年12月期第2四半期 | 1,930 | 1,473 | 76.3 |
| 2020年12月期 | 1,507 | 1,184 | 78.5 |

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 1,473百万円 2020年12月期 1,184百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2021年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2021年12月期 (予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,529 | 32.6 | 229 | 20.0 | 229 | 20.3 | 332 | 145.7 | 85.02 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年12月期2Q | 3,997,050株 | 2020年12月期 | 3,995,050株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年12月期2Q | 47,449株 | 2020年12月期 | 50,080株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年12月期2Q | 3,945,746株 | 2020年12月期2Q | 3,899,155株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第2四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |
| (企業結合等関係) | 7 |
| (重要な後発事象) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動が制限されるなどの影響が依然として続いており、緊急事態宣言が断続的に発出されるなど、景気の先行きは不透明な状況が予想されております。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、リモートワークやクラウドサービスの導入を積極的に実施する企業が増えてきており、AIや5Gなどのデジタルトランスフォーメーションが加速し、DX化、IT投資への需要が急速に高まっているものと認識しております。また、当社がターゲットとする働き方改革ICT市場におきましては、ソーシャルディスタンスをきっかけに時間と場所に柔軟性を持たせた働き方の多様性が更に求められており、テクノロジーを積極的に活用した業務効率化をはじめ、IT活用のメリットを多くの企業が再認識するとともに、今後益々の市場の拡大が期待されております。

このような事業環境の中、当社は、「Smart Work, Smart Life～テクノロジーでビジネススタイルをスマートに」のミッションのもと、AIでコミュニケーションの次元を高める会社として、メッセージングサービス「絶対リーチ!SMS」及びビジネスチャットサービス「InCircle」を展開し、HR関連サービスにおいては、AIデータ分析を人事領域に組み合わせ、人的資源の可視化・個人最適化による有効活用実現に向けて新規事業を推進してまいりました。

当第2四半期においては、これらのサービスのうち、ビジネスチャットサービスについて他社に事業譲渡することを決定し、6月1日をもって事業譲渡を完了いたしました。これは、コロナ禍の状況において社会全体のDX化が急速に進んでいる中においては、当社ビジネスはまたとないチャンスを迎えていると捉えており、今後の市場成長スピード、当社の市場におけるポジション等を鑑みの中で、よりポテンシャルの高いメッセージング領域・HR領域に経営資源を集中することでこのチャンスを逃さないことが、今後の事業成長・企業価値向上のためにベストの選択肢であると判断したためであります。本件事業譲渡により、257,510千円の特別利益が発生しております。

また、HR関連サービスの新サービスとして、戦略人事AIアナリティクス「HYOUMAN BOX」をリリースしました。本サービスは、社員のパーソナリティを適性検査により可視化し、可視化されたデータを多様に分析することで、自社に適した活躍人材を見極め、最適な配置を実現可能とします。また人事DXを実現し、感覚人事から脱却することで組織パフォーマンスを最大にするスマートシステムです。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、下表のとおりとなりました。

(単位：千円)

| | 2021年12月期 第2四半期 | 2020年12月期 第2四半期 | 増減額 | 増減率(%) |
|--------|--------------------|--------------------|---------|--------|
| 売上高 | 1,271,299 | 891,356 | 379,943 | 42.6 |
| 営業利益 | 174,843 | 58,203 | 116,640 | 200.4 |
| 経常利益 | 171,997 | 57,720 | 114,277 | 198.0 |
| 四半期純利益 | 283,303 | 38,832 | 244,471 | 629.6 |

なお、当社はSmart AI Engagement事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産1,930,327千円となり、前事業年度末に比べ422,609千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加377,517千円、売掛金の増加21,807千円、前払費用の増加11,569千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は456,850千円となり、前事業年度末に比べ133,456千円増加いたしました。これは主に未払金の増加34,694千円、未払法人税等の増加107,174千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は1,473,476千円となり、前事業年度末に比べ289,152千円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加283,303千円、資本金の減少459,494千円、資本剰余金の増加465,357千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ337,516千円増加し、1,393,779千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は137,211千円(前年同期は28,943千円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益429,507千円及び事業分離における移転利益257,510千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は208,216千円(前年同期は20,983千円の支出)となりました。これは主に、事業譲渡による収入279,810千円及び投資有価証券の取得による支出50,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は7,911千円(前年同期は70,443千円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出9,198千円によるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、デジタルトランスフォーメーションの後押しを受け、SMS市場の可能性は高まっております。経営資源の選択と集中により、メッセージングサービスの成長及びHR関連サービスの新規開発は、順調に推移しており、2021年3月31日に公表いたしました適時開示「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。なお、依然として新型コロナウイルス感染症の動向には注視してまいります。現時点において、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2020年12月31日) | 当第2四半期会計期間 (2021年6月30日) |
|---------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,056,262 | 1,393,779 |
| 売掛金 | 306,491 | 328,298 |
| 仕掛品 | 55 | — |
| 前払費用 | 24,603 | 36,172 |
| その他 | 365 | 17,081 |
| 貸倒引当金 | △773 | △1,335 |
| 流動資産合計 | 1,387,005 | 1,773,996 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 22,364 | 21,294 |
| 無形固定資産 | 47,306 | 31,784 |
| 投資その他の資産 | 51,041 | 103,252 |
| 固定資産合計 | 120,713 | 156,330 |
| 資産合計 | 1,507,718 | 1,930,327 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 170,877 | 197,309 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 18,396 | 18,396 |
| 未払金 | 20,625 | 55,319 |
| 未払費用 | 7,081 | 3,072 |
| 未払法人税等 | 41,633 | 148,807 |
| 前受金 | 13,634 | — |
| 預り金 | 2,050 | 3,836 |
| その他 | 12,222 | 2,434 |
| 流動負債合計 | 286,521 | 429,175 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 36,873 | 27,675 |
| 固定負債合計 | 36,873 | 27,675 |
| 負債合計 | 323,394 | 456,850 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 470,161 | 10,667 |
| 資本剰余金 | 446,161 | 911,518 |
| 利益剰余金 | 268,533 | 551,837 |
| 自己株式 | △640 | △653 |
| 株主資本合計 | 1,184,216 | 1,473,369 |
| 新株予約権 | 107 | 107 |
| 純資産合計 | 1,184,323 | 1,473,476 |
| 負債純資産合計 | 1,507,718 | 1,930,327 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 891,356 | 1,271,299 |
| 売上原価 | 544,687 | 804,181 |
| 売上総利益 | 346,668 | 467,118 |
| 販売費及び一般管理費 | 288,465 | 292,275 |
| 営業利益 | 58,203 | 174,843 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 5 |
| その他 | 0 | — |
| 営業外収益合計 | 4 | 5 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 29 | 136 |
| 為替差損 | 458 | 1,444 |
| 支払手数料 | — | 1,270 |
| 営業外費用合計 | 488 | 2,851 |
| 経常利益 | 57,720 | 171,997 |
| 特別利益 | | |
| 事業分離における移転利益 | — | 257,510 |
| 特別利益合計 | — | 257,510 |
| 税引前四半期純利益 | 57,720 | 429,507 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 17,920 | 148,808 |
| 法人税等調整額 | 966 | △2,603 |
| 法人税等合計 | 18,887 | 146,204 |
| 四半期純利益 | 38,832 | 283,303 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 57,720 | 429,507 |
| 減価償却費 | 25,689 | 19,972 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △88 | 562 |
| 受取利息 | △3 | △5 |
| 支払利息 | 29 | 136 |
| 事業分離における移転利益 | — | △257,510 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 22,953 | △51,448 |
| 前払費用の増減額 (△は増加) | △6,017 | △7,006 |
| 立替金の増減額 (△は増加) | — | △8,944 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 2,141 | 33,104 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △22,588 | 35,012 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | △2,817 | △4,008 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △12,708 | △19,555 |
| 前受金の増減額 (△は減少) | 6,302 | 5,322 |
| その他 | △2,427 | △5,833 |
| 小計 | 68,183 | 169,305 |
| 利息の受取額 | 3 | 5 |
| 利息の支払額 | △29 | △136 |
| 法人税等の支払額 | △39,213 | △31,963 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 28,943 | 137,211 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △50,000 |
| 事業譲渡による収入 | — | 279,810 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △20,983 | △618 |
| 無形固定資産の取得による支出 | — | △20,974 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △20,983 | 208,216 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 66,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,533 | △9,198 |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | 4,409 | 1,334 |
| 新株予約権の発行による収入 | 1,636 | — |
| 自己株式の取得による支出 | △69 | △47 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 70,443 | △7,911 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 78,403 | 337,516 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 835,133 | 1,056,262 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 913,537 | 1,393,779 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使により、資本金が667千円、資本剰余金が667千円増加、当社の取締役に対する譲渡制限付株式報酬として2021年5月11日を期日とする自己株式の処分(2,657株)を行ったことにより、資本剰余金が4,528千円増加し、自己株式が33千円減少しております。

また2021年3月26日開催の定時株主総会の決議に基づき、2021年5月31日に無償減資を行いました。この無償減資の結果、当第2四半期累計期間において資本金が460,161千円減少し、資本剰余金が460,161千円増加しております。これらの結果、第2四半期会計期間末において、資本金は10,667千円、資本剰余金は911,518千円、自己株式は653千円となっています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

当社は、ビジネスコミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

当社は、Smart AI Engagement事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。前事業年度末より、従来「ビジネスコミュニケーションプラットフォーム事業」としていた報告セグメント名称を、AIでコミュニケーションの次元を高める会社への取り組みをより一層明確にするため、「Smart AI Engagement事業」に変更しております。なお、この変更はセグメント名称の変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

(企業結合等関係)

事業分離

当社は、2021年6月1日付で当社のビジネスチャット事業(以下「対象事業」)を、新設分割により新設会社(以下「本新設会社」)に承継させ、さらに、本新設会社の株式の全てをナレッジスイート株式会社に譲渡(以下株式譲渡と新設分割を総称して「本取引」)いたしました。

1. 事業分離の概要

(1) 会社分割による事業分離先企業の名称及び株式譲渡先企業の名称

① 会社分割による事業分離先企業の名称

株式会社DXクラウド

② 株式譲渡先企業の名称

ナレッジスイート株式会社

(2) 分離した事業の名称及びその事業の内容

① 事業の名称

ビジネスチャット事業

② 事業の内容

ビジネスチャットサービスの開発・提供

(3) 事業分離を行った主な理由

当社は「Smart Work, Smart Life」の理念のもと、AIなど先進のテクノロジーや第5世代(5G)移動通信システムを活用して、企業のさらなる業務効率向上と、働く従業員の多様な働き方の革新を支援するテクノロジーカンパニーです。当該理念を達成するために顧客企業における生産性向上に資するSmart AI Engagement事業を行っ

ており、「ビジネスチャットサービス」「メッセージングサービス」「HR関連サービス」の3サービスを展開してまいりました。

今回事業譲渡を決定した「ビジネスチャットサービス」は、当社の創業以来サービス展開しており、導入企業数は600社を超え、順調に推移しておりました。

しかしながら、この度のコロナ禍により、企業がDX化に迫られ、社会全体のDX化が急速に進んでいる状況においては、当社ビジネスはまたとないチャンスを迎えていると捉えており、今後の市場成長スピード、当社の市場におけるポジション等を鑑みの中で、よりポテンシャルの高いメッセージング領域・HR領域に経営資源を集中することでこのチャンスを逃さないことが、今後の事業成長・企業価値向上のためにベストの選択肢であると判断し、本取引を実施することといたしました。

(4) 会社分割日及び株式譲渡日

2021年6月1日

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

① 会社分割

当社を分割会社とし、本新設会社に対して対象事業に関する権利・義務を承継させる新設分割（簡易分割）

② 株式譲渡

受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額

事業分離における移転利益 257,510千円

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

| | |
|------|---------------|
| 流動資産 | 29,641千円 |
| 固定資産 | 18,607 |
| 資産合計 | <u>48,248</u> |
| 流動負債 | 25,948 |
| 負債合計 | <u>25,948</u> |

(3) 会計処理

移転したビジネスチャット事業に関する投資は清算されたものとみて、移転したことにより受け取った対価となる財産の時価と、移転した事業に係る株主資本相当額との差額を移転損益として認識しております。

3. 四半期累計期間に係る四半期損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

| | |
|------|----------|
| 売上高 | 99,306千円 |
| 営業利益 | 13,586千円 |

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2021年8月3日開催の取締役会において、新たに子会社を設立することについて決議いたしました。

1. 設立の理由

当社は「Smart Work, Smart Life」の理念のもと、顧客企業における生産性向上に資するSmart AI Engagement事業を行っており、「メッセージングサービス」「HR関連サービス」を展開しております。これらサービスの成長のために、M&A、資本業務提携等を積極的に推進していく方針であり、スピード感を持ってこれらの候補企業の探索及び投資実行を進めていくため、M&A、資本業務提携の候補先の探索及び投資実行を担う子会社を新たに設立することといたしました。

2. 設立する子会社の概要

- | | |
|-----------|-----------------------|
| (1) 商号 | AIX Tech Ventures株式会社 |
| (2) 所在地 | 東京都港区西新橋三丁目16番11号 |
| (3) 代表者 | 代表取締役社長 上杉 秀人 |
| (4) 事業内容 | Smart AI Engagement事業 |
| (5) 資本金 | 50,000千円 |
| (6) 出資比率 | 当社 100% |
| (7) 設立年月日 | 2021年8月3日 |